

## 2008年 電気学会東京支部茨城支所 第2回講演会活動報告

茨城支所では2008年の第2回講演会を実施した。

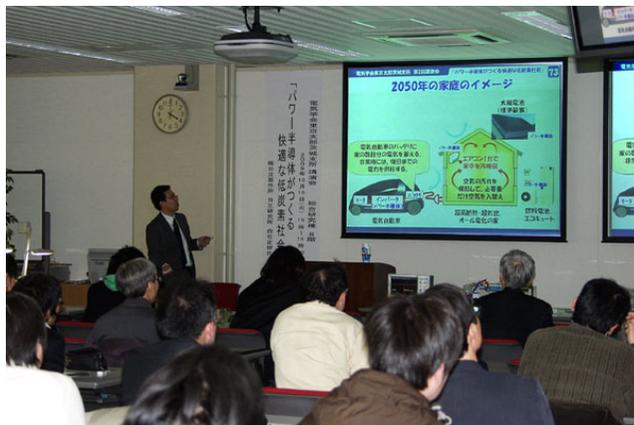
今年度、茨城支所では「省エネ・環境技術」を大テーマとした講演会活動をしており、7月にはモータ制御技術に関する講演会を実施済みである。今回は第2弾として、モータを効率よく制御するために不可欠なパワー半導体デバイスに着目し、その研究者による講演会とした。

講師の白石氏は、機材を使って、抵抗によりモータの回転を制御した場合と、パワー半導体（IGBT\*）を適用して制御した場合とを比較して解説された。

また、IGBTの動作原理や、パワー半導体が今後、地球温暖化にどのように貢献していくのか、2050年にはどのような社会になるのか、といったテーマに踏み込んで、大変わかりやすい説明をしていただいた。会場には40名を超える聴講者が集まり、講演後には数多くの質問が出され活発な討論ができ、有意義な講演会となった。

\* IGBT: Insulated Gate Bipolar Transistor

1. 開催日時 2008年12月16日（火） 15:00～16:30
2. 会場 茨城大学工学部 総合研究棟8階 イノベーションルーム
3. 講師 白石正樹氏 （株）日立製作所 日立研究所 研究員
4. 聴講者数 42名
5. 演題 「パワー半導体がつくる快適な低炭素社会」



講演会の様子